

**JAPAN
INDUSTRIAL
ANNUAL**



'83

日本工業年鑑
'83

**JAPAN
INDUSTRIAL
ANNUAL**

日本工業新聞社

'83 日本工業年鑑

発行 昭和58年3月31日

発行者 野地 二見

発行所 日本工業新聞社

東京本社 東京都千代田区大手町1-7-2 〒100

電話 03-231-7111

大阪本社 大阪市北区梅田2-4-9 〒530

電話 06-343-1221

定価 30,000円

印刷所 大日本法令印刷株式会社

日本工業年鑑〈'83年版〉ご利用の前に

日本工業年鑑は、昭和40年の創刊（'65年版）いらい、毎年刊行がつけられているわが国唯一の総合工業年鑑である。この'83年版（昭和58年）は、通巻第18号に当たる。刊行の目的は、わが国の産業経済の推移および個々の工業界の動向を分析してそれを一冊にまとめ、便利で適切な現状把握の資料を提供することであり、年々内容の充実に努めている。編纂に当たっては、別掲の如く関連諸官庁並びに各工業界等諸団体のご協力を願った。

〔構成〕

全体の構成は、わが国産業の基盤となる経済・社会情勢や政策について展望する経済編、工業界各個について記述する産業編、および付録として産業構造審議会と、ほぼ三部門に大別される。

さらに細分化して示せば次の通りである。

- (1) 経済編 日本経済 産業重点政策
- (2) 産業編 エネルギー産業 金属工業 機械工業 電気・電子機械工業 化学工業
繊維工業 窯業 建設・建材業 雑貨産業 食品工業 輸送業
- (3) 付録 産業構造審議会の現況

〔内容〕

各章における記述は、①概要、②需給（輸出入も含む）、③問題点に分けて、重要なポイントを網羅している。さらに各章とも「経過・現状・展望」を盛りこみ、原則として過去5か年間の推移をフォローしたうえで現状分析を行い、56年（度）の確定数字を完全、詳細なものとしてまとめている。そして、当該年度終了時から執筆時点までの情勢の推移をつかみ、次年度の展望および課題を盛りこんである。また、全体を通して数表を豊富に入れ、場合によっては系統図、グラフ等を用いて、理解を容易にする方法を講じた。

〔会社紹介欄〕

原則として見開き2頁を提供、文章で会社の沿革、事業の概要、営業の概況、企業の体制などを盛りこみ、設備や製品などの写真と組み合わせた構成となっている。本欄はたんに企業PRを目的とするだけでなく、本文とタイアップして業界動向解説の側面的肉付けの役目もかねたものとし、その挿入頁も各企業の属す工業界の本論につづけて、利用の便を図っている。

〔使い方・索引〕

巻頭にくわしい目次をつけているので、まず目次に目を通して、内容の大要を把握していただくと便利である。さらに図表索引を項目別に、産業別索引と会社紹介欄掲載会社名の索引を五十音順に作成し、必要なものを容易にひろいだせるようにしている。

なお、巻末には関連諸団体の名簿を産業別に作成し、ご利用の便を図った。

日本工業年鑑へのお問い合わせは下記へ

〒100 東京都千代田区大手町1-7-2

日本工業新聞社出版局年刊書籍グループ

電話 03(231)7111 内線 3565

■本年鑑の編纂に当たって、下記諸官庁並びに各団体のご協力を得た。

通商産業省大臣官房	通商産業省産業政策局	通商産業省通商政策局
通商産業省立地公害局	資源エネルギー庁長官官房	中小企業庁長官官房
工業技術院総務部	農林水産省食品流通局	農林水産省農蚕園芸局
(財)日本エネルギー経済研究所	日本石炭協会	石油連盟
電気事業連合会	(社)日本瓦斯協会	(社)日本原子力産業会議
(社)日本鉄鋼連盟	日本鋳業協会	(社)日本アルミニウム連盟
日本伸銅協会	(社)日本電線工業会	日本フェロアロイ協会
(社)日本機械工業連合会	日本工作機械工業会	日本鍛圧機械工業会
日本鑄造機械工業会	(社)日本繊維機械協会	(社)日本農業機械工業会
(社)全国木工機械工業会	日本家庭用ミシン工業会	日本工業ミシン協会
日本油圧工業会	日本空気圧工業会	(社)日本産業機械工業会
(社)日本冷凍空調工業会	(社)日本包装機械工業会	(社)日本事務機械工業会
(社)日本食品機械工業会	(社)日本印刷製本紙工機械工業会	日本自動販売機工業会
(社)日本映画機械工業会	(社)日本自動車工業会	(社)日本自動車部品工業会
(社)日本産業車両協会	航空新聞社	(社)日本造船工業会
(社)日本鉄道車輛工業会	(社)日本自転車工業会	(社)日本産業用ロボット工業会
日本写真機工業会	(社)日本計量機器工業連合会	日本科学機器団体連合会
日本医科器械商工団体連合会	日本顕微鏡工業会	(社)日本双眼鏡工業会
日本パルプ工業会	(社)日本ばね工業会	(社)日本ねじ工業協会
(社)日本歯車工業会	日本金型工業会	日本工具工業会
超硬工具協会	ダイヤモンド工業協会	全国作業工具工業組合
研削砥石工業会	研削材工業協会	(社)日本電機工業会
日本蓄電池工業会	日本電池・器具工業会	日本電球工業会
(社)日本電子機械工業会	(社)日本電子工業振興協会	財団法人情報処理開発協会
通信機械工業会	(社)日本電気計測器工業会	(社)化学経済研究所
日本プラスチック工業連盟	日本ゴム工業会	カーバイド工業会
カーボンブラック協会	日本石鹼洗剤工業会	日本界面活性剤工業会
日本接着剤工業会	化成品工業協会	日本塗料工業会
日本無機薬品協会	触媒工業協会	硫酸協会
日本ソーダ工業会	日本産業火薬会	日本化粧品工業連合会
日本製紙連合会	三菱瓦斯化学㈱	薬業経済研究所
東洋紡績(株)経済研究所	日本羊毛紡績会	日本綿スフ織物工業連合会
(社)日本絹人織織物工業会	日本化学繊維協会	日本ニット工業組合連合会
(社)日本衣料縫製品協会	日本繊維雑品工業組合連合会	日本エンブroidアリー・レース工業会
日本繊維ロープ工業組合	日本漁網工業組合	(社)日本染色協会
日本毛整理協会	板硝子協会	硝子繊維協会
(社)日本硝子製品工業会	(社)セメント協会	日本陶業連盟
炭素協会	耐火物協会	(社)日本建設業団体連合会
(社)鉄骨建設業協会	㈱ミュージック・トレード社	日本シガレットライター工業組合
(社)日本玩具協会	日本文具工業団体連盟	日本工業新聞社編集局

目次

目 次

日本の経済	1	住宅投資を取り巻く環境	42
■56年度の動向	3	マンション市場動向	45
概要	3	住宅の質的改善	46
財政	6	ストックの活用	46
金融	7	住宅政策	48
国内民間需要の動向	7	宅地政策	48
物 価	11	昭和57年度土地住宅税制の改正	49
国際収支	11	■民間在庫投資	50
■鉱工業生産	14	概要	50
概要	14	国民総支出における民間在庫投資の推移	51
生産・出荷・在庫	14	製品、原材料、流通在庫	52
主要業種の動向	18	製品在庫水準判断および製品需給判断	55
稼働率指数	22	■財政・金融	58
今後の動向	22	56年度の財政政策	58
■民間最終消費支出	23	金融政策の展開	68
概要	23	■国際収支と貿易動向	75
世帯類型別消費動向	23	世界経済の概観	75
消費の緩慢な回復とその背景	26	56年度の国際収支動向	78
支出内容からみた消費の特徴	31	今後の展望	84
変わる家計の貯蓄行動	34	■物 価	86
今後の家計消費の動向	34	概要	86
■民間設備投資	35	卸売物価	87
経 緯	35	消費者物価	89
現 状	35	今後の方向	89
大企業の動向	35	■労 働	93
投資動機とその変化	38	概要	93
中小企業の動向	38	労働力需給	93
設備投資の現局面と今後の評価	40	雇用	94
■住宅投資	42	労働力・失業	97
概要	42	賃 金	97

高年齢者の雇用の現状……………	100	■中小企業政策……………	177
■企業経営……………	102	施策の背景……………	177
経済の動向……………	102	講じた施策……………	177
55年度の経営動向……………	102	■技術開発政策……………	183
56年度上半期の経営動向……………	106	産業技術の現状……………	183
■中小企業……………	107	政府の施策……………	183
概 要……………	107	80年代の技術政策……………	189
中小企業の景気動向……………	107	■総合エネルギー政策・資源政策 ……	191
景気回復の遅れと中小企業……………	108	総合的な資源・エネルギー政策の理	
中小企業の輸出活動……………	111	念……………	191
悪化した企業収益……………	111	総合的な資源・エネルギー政策の推	
低迷を続けた設備投資……………	113	進……………	192
企業倒産の動き……………	115		
中小企業の今後の動向……………	115		
<hr/>			
産業重点政策……………	119	エネルギー産業……………	205
<hr/>			
■総 論……………	119	■総 説……………	205
概 要……………	119	概 要……………	205
中・長期展望を踏まえた産業の活性		エネルギー別動向……………	206
化と技術開発の推進……………	119	■石炭産業……………	212
総合的な資源エネルギー政策の展開……………	120	概 要……………	212
多様化する経済社会の要請に即応す		生産状況……………	212
る中小企業政策の展開……………	120	需給・輸入炭……………	213
魅力ある地域経済社会の形成と国民		経営状況……………	213
生活の質的向上……………	120	■石油産業……………	218
■国際化政策……………	122	O P E Cの動向……………	218
わが国の国際化政策の推移……………	122	世界の石油需給とメジャーなどの長	
貿易摩擦問題とわが国の対応……………	123	期見通し……………	219
今後のわが国の国際化政策の方向……………	132	需給動向……………	219
■消費者・物価政策……………	134	石油業界の動向……………	221
消費者行政……………	134	石油行政の動向……………	223
流通行政……………	139	長期エネルギー需給見通し……………	224
物価行政……………	143	■電気事業……………	249
■立地・公害政策……………	148	概 要……………	249
立地問題と政策……………	148	電力需給の動向……………	250
工業用水政策……………	155	燃料関係……………	253
産業公害防止政策……………	165	設備投資の動向……………	255
		原子力関係……………	257
		立地環境関係……………	259

電気事業の広域運営	260	冷延薄板類	363
56年度9電力会社の決算概要	261	冷延電気鋼帯	364
■都市ガス事業	277	棒鋼	364
概要	277	線材	366
ガス事業者	277	形鋼	366
ガスの需給	277	鋼矢板	367
ガス事業の設備	278	軌条・外輪	367
保安対策	279	鋼管	367
ガス料金の推移	280	表面処理鋼板類	368
■原子力産業	287	鋳鋼品、鍛鋼品	369
エネルギー情勢と原子力	287	■特殊鋼業	374
原子力開発利用長期計画	287	特殊鋼熱間圧延鋼材需給	374
原子力開発状況	288	国内受注動向	375
原子力産業の実態	289	鋼種別需給の動向	375
		輸出	376
		設備投資	377
		収益状況	377
金属工業	337		
■鉄鋼業総説	337	■銅・鉛・亜鉛鋳業	387
56年度の概要	337	銅鋳業	387
国内需要	338	鉛鋳業	388
輸出入	339	亜鉛鋳業	388
生産	340	■アルミニウム工業	404
設備技術	340	概要	404
企業収益	341	アルミニウム製品需要の動き	404
鉄鋼エンジニアリング事業	341	アルミニウム一次製錬業	404
今後の展望	342	アルミニウム圧延工業	405
■鉄鋼原燃料	351	アルミニウム二次地金	405
概要	351	主要な業界動向	406
鉄鉱石	351	■伸銅工業	416
原料炭	352	概要	416
銑鉄、鉄くず	353	最近の状況	416
鉄鋼業のエネルギー消費	354	■電線工業	424
その他の原料	354	概要	424
■鉄鋼製品工業	360	電線工業の国内・外における地位	424
概要	360	需要動向	424
銑鉄	362	57年度の電線需要見通し	425
粗鋼	362	むすび	425
厚中板	362		
熱延薄板類	363		

■ニッケル工業	428	生産の推移	501
自由世界の生産, 消費	428	輸出入の推移	502
国内需給	428	技術水準および技術動向	502
市況	428	今後の課題	502
■フェロアロイ工業	435	○プラスチック加工機械工業	506
概要	435	概要	506
生産	435	プラスチック加工機械の生産の推移	506
輸出入	438	輸出入の推移	506
その他	438	生産構造と需要分野	507
<hr/>		技術水準	507
機械工業		今後の問題点	507
<hr/>		○土木建設機械工業	509
■総説	461	概要	509
機械工業の範囲	461	生産の推移と需要の動向	509
最近数年間の機械工業動向	463	輸出入の推移	509
56年度の機械工業の動向	465	生産体制と販売問題	510
57年度の機械工業の生産, 輸出展望	468	技術開発の課題	510
■一般機械工業	475	今後の見通し	510
○工作機械工業	475	○鉱山機械工業	513
定義と分類	475	概要	513
産業構造	476	生産の推移と需要の動向	513
需給動向	477	輸出入の推移	514
企業経営	479	生産態勢と販売形態	514
流通	480	今後の課題	514
海外	481	○運搬機械工業	516
展望	481	概要	516
○化学機械工業	496	生産の推移	516
概要	496	輸出入の推移	516
生産の推移	496	生産構造と需要部門	517
需要部門別出荷状況	497	運搬機械の課題	517
輸出入の推移	497	■産業用ロボット工業	520
プラント輸出	497	概要	520
生産構造と技術水準	497	産業用ロボットとは	520
今後の課題	498	産業構造	520
○冷凍・空調機器工業	501	生産の推移	521
概要	501	○風水力機械工業	527
冷凍機の種類と用途	501	概要	527
生産構造	501		

生産の推移	527	生産構造	560
輸出入の推移	528	需要部門の動向	560
需要部門の動向	528	公害規制の動向	561
生産構造と技術水準	528	技術水準	561
今後の課題	529	80年代の展望	561
○鍛圧機械工業	531	公害防止産業の課題	562
概要	531	○包装機械工業	566
業界の動向	531	概要	566
技術の動向	532	企業構造	566
安全化推進	533	生産の推移	567
○鑄造機械工業	536	輸出入の推移	567
概要	536	技術の現状	567
需給動向	536	今後の課題	568
展望と課題	537	○事務機械工業	570
○農業機械工業	538	概要	570
概要	538	需給の推移	571
生産状況	539	今後の展望	572
輸出状況	539	○食品加工機械工業	578
輸入状況	539	概要	578
○繊維機械工業	543	需給の推移	578
概要	543	問題点と今後の展望	579
受注動向	543	○印刷・製版・製本・紙工機械工業	583
生産	544	生産と輸出	583
輸出	545	技術動向	583
輸入	545	○自動販売機工業	586
○木材加工機械工業	550	概要	586
概要	550	需給動向	586
需給	551	問題点	587
技術の推移	553	今後の見通し	587
今後の方向と課題	553	○映画機械工業	591
○ミシン工業	556	概要	591
概要	556	生産状況	592
需給動向	557	輸出入状況	592
展望と課題	558	問題点と今後の見通し	592
○公害防止産業	560	○油圧機器工業	596
概要	560	概要	596
生産の推移	560	企業形態	597

生産および需給	597	○産業車両工業	635
輸出入	597	概要	635
設備と技術	597	生産の動向	635
油圧工業の体制整備	598	輸出の動向	635
今後の動向	598	技術	636
○空気圧機器工業	601	今後の課題	636
概要	601	○航空機工業	638
生産・出荷	601	概要	638
空気圧の特徴	602	各種プロジェクトの現状	638
今後の空気圧の動向	602	○造船工業	643
■輸送用機械工業	606	概要	643
○自動車工業	606	わが国造船業の沿革	643
概要	606	わが国造船業の現況	645
自動車工業の産業上の位置付け	606	わが国造船業界の今後の展望	647
生産	607	○鉄道車両工業	666
国内の登録・届出	608	概要	666
輸出	608	56年度の鉄道車両生産	666
輸入	609	技術の発展	669
保有	610	当面の課題	669
企業	611	○自転車工業	675
設備投資	611	生産の推移	675
公害対策	612	輸出	676
自動車関係諸税	613	輸入	676
○自動車部品工業	624	自転車工業の将来と課題	676
現状	624	■精密機械工業	680
「特定機械情報産業振興臨時措置法」(機 情法)の運用	624	○カメラ工業	680
生産状況	624	概要	680
輸出状況	625	需給動向	680
企業状況	625	○時計工業	686
部品工業の設備投資動向	625	概要	686
部品工業の技術	625	需給動向	687
○自動二輪車工業	630	今後の展望	687
概要	630	○計量計測機器工業	692
生産	630	概要	692
輸出	630	工業計器製造業	692
二輪車工業の国際的地位	630	分析機器製造業	693
メーカーの動き	631		

精密測定機器製造業	694	企業規模	729
試験機製造業	695	生産・輸出入	729
測量機製造業	695	その他特記事項	730
はかり製造業	696	○軸受工業	733
長さ計製造業	696	概要	733
圧力計製造業	697	生産構造	734
温度計製造業	697	需要構造	735
積算体積計製造業	698	輸出入	735
○科学機器工業	701	技術	735
応用分野の拡大	701	問題点と将来	735
機別種概要	701	○歯車工業	749
研究室の自動化への対応	704	概要	749
○医療機器工業	710	需給	749
概要	710	国際競争力の現状	750
需給動向	711	将来の展望	751
展望と課題	712	今後の問題点と対策	751
○顕微鏡工業	714	○金型工業	755
概要	714	概要	755
需要の現況	714	金型の種類	755
今後の動向	715	金型の生産額	755
○双眼鏡工業	716	金型産業の構造	756
概要	716	金型企業の経営	756
需給関係	717	問題点	757
今後の課題	718	○特殊鋼工具工業	761
■機械要素工業	722	概要	761
○ばね工業	722	生産および輸出入	761
概要	722	生産技術と製品	762
生産	722	問題点と対策	763
輸出	723	○超硬工具工業	765
現状と課題	723	概要	765
○バルブ工業	725	需給	766
概要	725	課題と展望	767
生産の動向	725	○ダイヤモンド工具工業	770
輸出・輸入	726	概要	770
問題点	726	需給	771
○ねじ工業	729	○作業工具製造業	776
概要	729	概要	776

生産	777	○民生用電子機器工業	895
輸出	777	概要	895
輸入	777	56年における主要民生用電子機器の	
問題点	778	動向	896
○研削材料工業	780	今後の課題と展望	899
人造研削材	780	○電子部品工業	909
人造研削砥石	780	概要	909
<hr/>		主要電子部品の需給動向	911
電気・電子機械工業		電子部品工業の課題と展望	914
<hr/>		○電子計算機工業	935
■電気機械工業	829	概要	935
○重電機械工業	829	電子計算機工業の現状	935
概要	829	各種電子計算機の市場および企業動向	936
需給	830	○情報処理産業	955
○電力・産業用電気機器	838	情報処理産業の構造	955
電力用機器	838	情報処理産業の現状	955
産業用および汎用機器	841	情報処理産業の展望と課題	956
主要機器の記録品	842	海外主要国の動向	957
○民生用電気機器	867	○通信機械工業	967
概要	867	概要	967
普及の状況	867	生産動向	967
需要の動向	867	今後の見通し	968
生産、輸出入額の推移	867	○電気計測器工業	971
課題および展望	868	概要	971
○電池工業	874	電気計測器産業	971
蓄電池	874	電気計測器の生産・輸出・輸入	972
乾電池	875	課題および展望	973
○電球・照明工業	879	<hr/>	
概要	879	化学工業	
生産・出荷	879	<hr/>	
輸出入	880	■総説	1009
特記事項	880	概要	1009
■電子機械工業	883	需給動向	1009
○電子応用装置工業	883	課題と展望	1011
概要	883	■石油化学工業	1016
個別機器の動向	883	概要	1016
今後の課題と展望	885	需給の状況	1016

原料ナフサ	1018	概 要	1068
企業収益, 設備投資	1018	生産, 出荷動向	1068
課題と展望	1019	需給動向	1069
■プラスチック工業	1028	輸出・輸入状況	1069
概 要	1028	今後の課題	1069
需給動向	1028	■合成接着剤工業	1073
課 題	1032	概 要	1073
■ゴム工業	1041	需 給	1073
概 要	1041	問題点	1074
主要製品別の生産概況	1041	■染料工業	1076
輸 出	1042	概 要	1076
輸 入	1042	現 状	1076
原材料	1043	展 望	1076
57年の展望	1044	■塗料工業	1082
■カーバイド工業	1050	概 要	1082
概 要	1050	需給動向	1083
需給状況	1050	課題および展望	1083
問題点	1051	■無機薬品工業	1087
■カーボンブラック工業	1052	概 要	1087
沿革と概要	1052	需給動向	1087
日本の需給経過	1052	■触媒工業	1094
需給の現況	1053	概 要	1094
需要部門別の明細	1053	最大の課題—自動車用触媒関税問題	
輸出入	1054	決着	1094
今後の見通しと問題点	1054	需給状況	1095
■油脂製品工業	1061	■硫酸工業	1099
概 要	1061	概 況	1099
需給状況と問題点	1062	56年度の硫酸需給	1099
■石けん工業	1063	57年度硫酸需給見通し	1100
概 要	1063	■ソーダ工業	1103
需給状況	1063	概 要	1103
問題点	1063	需 給	1103
■合成洗剤工業	1065	産業構造審議会化学工業部会答申	1104
概要と需給状況	1065	エネルギー問題	1105
問題点	1065	■産業火薬工業	1109
■界面活性剤工業	1068	概 要	1109

需要動向	1109	課題と展望	1220
生産および流通動向	1110	■綿スフ合織紡績業	1226
輸出動向	1110	概要	1226
今後の動向	1110	需給動向	1226
■化粧品工業	1113	第4次不況カルテルの特徴	1228
概要	1113	綿花事情	1229
問題点と今後	1115	雇用・経営	1229
■プラスチック成形加工業	1122	構造問題	1229
概要	1122	■羊毛紡績業	1234
需給動向	1122	概要	1234
課題	1123	需給状況	1234
■合成繊維原料工業	1128	原料事情	1235
概要	1128	原毛, 毛糸の価格	1235
合織原料の品種別動向	1128	その他	1236
■紙・パルプ工業	1133	■綿スフ織物業	1240
概要	1133	概要	1240
56年度の紙・パルプ需給	1134	需給	1240
今後の展望	1135	市況	1241
■化学肥料工業	1141	■絹人織物業	1243
概要	1141	概要	1243
窒素質肥料	1141	生産・輸出・輸入	1243
りん酸肥料	1144	絹織物の輸入対策	1244
■農薬工業	1160	展望	1244
農薬工業をめぐる環境	1160	■毛織物業	1245
農薬の需給動向	1164	概要	1245
若干の展望	1165	需給状況	1245
■医薬品工業	1173	その他	1245
概要	1173	■化学繊維工業	1247
生産の動向	1174	概要	1247
企業体制	1178	需給・設備動向	1248
企業経営および今後の展望	1178	経営動向	1252
■繊維工業	1215	当面の見通しと課題	1253
■総説	1217	■繊維二次製品製造業	1264
繊維工業の需給動向	1217	○メリヤス製造業	1264
		概要	1264
		需給状況(生産)	1264

輸 入	1265	輸出動向	1317
輸 出	1266	原・燃料動向	1317
業界の課題と見通し	1266	57年度の見通しと今後の課題	1317
○縫製品製造業	1269	■セメント工業	1321
概要	1269	概要	1321
需給動向	1269	セメントの需給	1322
展望と課題	1270	省エネルギーと燃料転換	1323
○その他の繊維二次製品製造業	1278	■陶磁器工業	1326
細幅織物製造業	1278	概要	1326
ひも類製造業	1278	需要動向	1327
ししゅうレース製造業	1279	今後の需要動向と問題点	1329
繊維製のロープ製造業	1279	結 び	1331
漁網製造業	1279	■炭素工業	1336
■染色整理業	1284	概要	1336
概要	1284	炭素製品の現況	1336
織物など機械染色整理業	1284	■耐火物工業	1339
■毛織物染色整理業	1291	概要	1339
概要	1291	需給状況	1339
56年の加工動向	1291	輸出入動向	1339
染色整理加工金額の動向	1291	原料動向	1339
加工数量の品種別および工程別の推移	1291	今後の課題	1339
労務構成の動向	1291		
従業員の現金給与額の動向	1291		
問題点と対策	1291		
■窯 業	1305	建設・建材工業	1349
■板ガラス工業	1307	■建設業・建設資材工業	1351
概要	1307	概要	1351
56年の需給動向	1307	建設業	1351
今後の課題と展望	1308	建設資材	1353
■ガラス繊維製品工業	1311	■住宅・不動産産業(含プレハブ住宅)	1361
概要	1311	概要	1361
需給動向	1311	近年の動向	1361
57年の業界の課題	1312	現 状	1361
■ガラス製品工業	1317	今後の見通し	1363
需給動向	1317	■鉄骨建設工業	1368
		概要	1368
		鉄骨・橋梁の生産推移	1368
		輸 出	1369